

小学校・中学校・義務教育学校で

タブレット端末を使った授業が本格的にスタート!



新1年生にも、
タブレット端末が
貸与されるよ。



市立小・中・義務教育学校では、令和2年度末(3学期)から、子どもたち1人1台の学習用タブレット端末(Apple iPad)を使った学習活動が始まりました。各学校では、子どもたちがタブレット端末を使って、自分の考えをまとめ、友だちと話し合ったり、わからないことや苦手なことを確認しながら学習したり、さまざまな学習活動が行われています。また、新型コロナウイルス感染症などの影響によって臨時休業になった際に、教室と家庭とをオンラインでつないだ授業も少しずつ始まりました。今月号では、タブレット端末を使った学習活動の一部を紹介します。

思考力・判断力・表現力の育成

深く考え、友だちと学び合う

自分の考えが相手に伝わるようまとめ方を工夫し、お互いの考えを情報共有アプリを使って瞬時に共有し、子ども同士で話し合い、考えを深めます。



情報共有アプリで、自分の考えをまとめ、友だちと情報共有(総合的な学習の時間)

「なぜ?」や「もっと知りたい」を大切に、自ら課題解決の方法を考え、主体的な学習を進めます。

学びに向かう力の醸成



漢字の書き方を復習(国語)



地図記号を復習(社会)

知識技能の定着

わかるまでじっくりと

授業で学習した内容を、ドリル学習アプリを使って、自分がわからないことや苦手なことを確認しながら、確実に身に付けます。

プログラミング教育



タブレット端末で、ドローンを操作

先端技術にも挑戦!

ドローンなどを実際に動かして、命令の順序立てなどを論理的に考える力を育成しています。

オンライン授業



Zoomを使って、教室と家庭とのオンライン会議

教室と家庭をつなぐ

新型コロナウイルス感染症などの影響によって臨時休業になったときに、教室と家庭とをオンライン会議(Zoom)でつなぎ、授業の様子を視聴したり、友だちや先生とやりとりをしたりして、家庭での学習を支援しています。

今後、病気などの事情で通学できない場合や、他校や海外の学校との交流などにも積極的に活用していきます。

問教育センター
TEL 06-6997-0703

